

施策分析シート（平成28年度）

No1

施策名	国内・海外都市との交流の推進	施策No	09-02	部課名 課長名	地域文化スポーツ部文化交流推進課 佐藤	内線 2520
関連部課名						
行政評価	分野 V	文化創造都市				
事業体系	政策 09	伝統文化の継承と都市間交流の推進				
目的	文化創造都市を実現するために、伝統文化の継承や新たな文化の創造など地域、区民と一緒にとなって荒川区の文化力の向上を目指す。					
指標	幸福実感指標名 (5段階評価)		指標の推移		指標に関する質問文	
			25年度	26年度	27年度	
	①地域への愛着度	2.93	2.86	2.85	荒川区の文化や特色に愛着や誇りを感じますか？	
	②文化的寛容性	2.71	2.57	2.60	文化や言語が異なる人々への思いやりや寛容さがあると感じますか？	
	③					
	④					
	施策の成果とする指標名		指標の推移			指標に関する説明
			25年度	26年度	27年度	
	①あらかわキャラバン派遣団体数	3	3	3	3	3 交流都市に派遣した文化・芸術団体の数
	②交流都市フェアでの荒川区の団体出演数	3	5	6	6	6 ステージ出演した荒川区の団体の数
	③交流都市と相互交流した区民・市民等の合計	1,320	1,249	1,269	1,300	1,300 各課交流事業連絡書に記載の合計人数
	④区民と外国人が相互交流する事業への参加者数	149	214	299	300	300 バスハイク・華道・茶道・着付・料理教室、ウィーン派遣高校生等
	⑤国際交流協会会員数	695	733	699	670	670 賛助会員数+協力会員数
現状と課題 (指標分析)	○現在、国内外交流都市は33都市あるが、交流状況が異なるため、交流方法や実施事業について十分に検討する必要がある。 ○荒川区の文化や特徴を活かした交流を推進するために、新たな団体を派遣したが、引き続き芸術文化団体等の育成を図る必要がある。 ○国際交流協会において、2020年東京オリンピック・パラリンピックを見据え、ボランティアの育成や区内在住外国人に対する支援を充実させるとともに、区民へ海外友好都市及び外国人との交流の機会を提供する必要がある。					
今後の方向性	《今までの成果及び指標分析を踏まえて》 ○交流の主体は区民であることに留意し、各都市の特徴を把握のうえ状況に合わせた交流を深め、荒川区にはない文化や自然環境を区民に提供し、より豊かな区民生活の実現を目指す。 ○荒川区の芸術文化団体を交流都市に派遣するだけでなく、連携して区内のイベントにも積極的に参加いただくなど、荒川区の魅力と活力を高める。 ○国際交流協会における既存事業の内容充実に加え、日常生活に基づいた講座や、各種イベントを通じた区民と外国人との交流の場を増やすことにより、国際交流事業の活性化を図るとともに、多文化共生社会の実現を目指す。					

施策の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
重点的に推進	重点的に推進	国内外の各交流都市の地域特性を活かし区民主体の幅広い交流を行うことに加え、区内在住外国人の支援や区内における交流の充実を図る。

施策を構成する事務事業の分類

事務事業名	事務事業No	決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		26年度	27年度	28年度	29年度	
特別区全国連携プロジェクト	01-01-35	-	-	推進	推進	全国の自治体と共存共栄を図りながら、区民が住み続けられる「幸福実感都市あらかわ」実現のための事業として優先度は高い。
国内都市交流事業	04-01-03	1,155	1,612	重点的に推進	重点的に推進	生活環境や地域文化の異なる地域と交流することにより、まちの魅力と活力を高める。
国際交流協会補助	04-01-04	5,727	4,532	重点的に推進	重点的に推進	区民主体の国際交流の推進母体として区が重点的に支援することが必要である。
海外都市交流事業	04-01-05	11,692	13,292	重点的に推進	重点的に推進	国際理解、文化振興のため大きく貢献する事業である。
あらかわキャラバン事業	04-01-09	463	774	推進	推進	芸術文化面で区を代表する個人・団体を交流都市に派遣し、交流促進とともに芸術文化振興を図る。
合 計		19,037	20,210			